

## 2020 スピードスケートユースオリンピック派遣選手選考基準

### 2020 ユースオリンピック冬季競技大会概要

- (1) 期日  
2020 年 1 月 9～22 日
- (2) 場所  
スイス・ローザンヌ
- (3) 年齢制限  
2002 年 1 月 1 日から 2004 年 12 月 31 日の間に生まれたもの
- (4) 参加資格タイム  
国際スケート連盟 (ISU) の設定する参加資格タイムを所持していなければならない  
(参加資格タイムは 2018 年 7 月 1 日から 2019 年 12 月 8 日の間にクリアすること)
- (5) 派遣可能人数  
男女各最大 3 名
- (6) 競技種目  
男子：500m (2)、1500m (2)、マススタート (2)、チームスプリント  
女子：500m (2)、1500m (2)、マススタート (2)、チームスプリント  
※括弧内は最大枠数で、2018 年度に開催される世界ジュニアスピードスケート選手権大会  
(イタリア・バゼルガディピネ)、2019 年度に開催されるジュニアワールドカップ第 1 戦  
(2019 年 11 月 16～17 日開催) 及び第 2 戦 (2019 年 11 月 23～24 日開催) の成績により  
割り振られる。  
※チームスプリントは NOC 混合チームでのレースで、ユースオリンピックでの 500m 及び  
1500m の成績によって ISU ルールに従ってチーム編成がなされる。

#### 【決定の方法】

派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

#### 【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

### 【特記事項】

- ・ 第1次選考（2018年度）を通過した者が第2次選考（2019年度）へ進み、この通過者を対象として第3次選考が行われ、決定する。
- ・ マスタートの派遣選手は、当該年度のJOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者が、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ 参加要項に変更があった場合は、それに準じて選考基準を再検討して変更する場合がある。

## 1. 第1次選考

### 【選考年齢区分】

上記年齢制限の条件を満たす者

### 【選考基準】

- (1) 2018年度に開催された第39回全国中学校スケート大会（長野市）又は第9回高校選抜スピードスケート競技会（帯広市）のいずれかにおいて、以下の成績を残した者。
  - ① 第39回全国中学校スケート大会においては、男女500m又は男女1500mの年齢区分に該当する選手（以下、該当選手）の順位における上位3位以内。
  - ② 第9回高校選抜スピードスケート競技会においては、男女500m又は男女1500mの該当選手の順位における上位3位以内
- (2) 2018年度に開催された世界ジュニアスピードスケート選手権大会（イタリア・バゼルガディピネ）における男女500m、男女1500mの日本代表選手

### 【その他】

- ・ 上記の基準を満たした選手には、2019年度開催予定の第26回全日本スピードスケート距離別選手権大会におけるジュニア選考部門において、男女それぞれ500m及び1500mの出場権を与える。
- ・ 上記選考基準を満たした選手は、ユースオリンピック派遣候補者として登録し、JOCによる派遣前手続きを実施する。
- ・ 上記の選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

## 2. 第2次選考

### 【選考年齢区分】

上記年齢制限の条件を満たす者。

### 【派遣可能人数】

男子最大4名・女子最大4名（合計最大8名）

### 【選考基準】

- (1) 第26回全日本スピードスケート距離別選手権大会における距離別部門及びジュニア選考部門の両部門の各種目全レースを対象とした該当選手のタイムランキングにおいて、以下の成績を残した者。
  - ① 男女500m 上位2名。
  - ② 男女1500m 上位2名。
  - ③ ①と②に選考された選手が同一の場合は、残りの派遣可能人数の範囲内で、①と②の次に位

置する選手を順に選考する場合がある。なお、この場合の順位が同じ場合は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、ユースオリンピックでの活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、優先順位を決定する。ただし、この決定は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。

(2) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

#### 【その他】

- ・ 上記基準を満たした選手は、ジュニアワールドカップ第 1 戦及び第 2 戦に、ユースオリンピック第 2 次選考枠として出場する。このため、この枠でジュニアワールドカップに出場した選手は、その後の国際競技会への参加において、ユースオリンピックを最優先に考えるものとする。
- ・ 2019/2020 スピードスケートジュニア国際競技会派遣選手選考基準を満たし、ジュニアワールドカップ第 1 戦及び第 2 戦の男女 500m 及び男女 1500m の日本代表となった、第 1 次選考を通過した (1) 以外の該当選手も第 2 次選考通過者として扱い、第 3 次選考の対象とする。

### 3. 第 3 次選考

#### 【選考年齢区分】

上記年齢制限の条件を満たす者。

#### 【選考基準】

- (1) 男女 500m、男女 1500m それぞれにおいて、ジュニアワールドカップ第 1 戦及び第 2 戦における該当選手の 2 レースのうち成績が良かったレースの順位（第 2 次選考通過者のみの順位）を比較し、最上位の成績を収めた選手を選考する。この順位が同順位の場合、ユースオリンピック対象年齢のみの選手のランキングを作成し、ここでの競技成績を基に、ユース候補選手の国際競技会での力量を総合的に検討し、当該年度の JOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、ユースオリンピックでの活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、優先順位を決定する。ただし、この決定は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- (2) 残りの枠は、ユースオリンピックにおいてメダル獲得が有望な種目を優先し、選考する。すなわち、ジュニアワールドカップ第 1 戦及び第 2 戦における男女それぞれの 500m および 1500m（合計 4 レース）について、ユースオリンピック対象年齢のみの選手のランキングを作成し、ここでの競技成績を基に、ユース候補選手の国際競技会での力量を総合的に検討し、当該年度の JOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、枠の範囲内で選考する。ただし、これらの選考は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- (3) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

#### 【その他】

- ・ ユースオリンピックの参加要項に変更および不測の事態があった場合は、それに準じて選考方法を再検討し、変更することもある。
- ・ 選考された選手の中で、ISU の設定する参加標準記録を所持している選手は、エントリー枠に空きが

あった場合には、追加エントリーをする場合がある。

【ユースオリンピック参加資格タイム】

	女子	男子
500m	45,00	41,00
1500m	2.20,00	2.07,00